

委員派遣実績報告書

令和4年11月21日

米子市議会議長 様

都市経済委員会

委員長 岩崎 康朗



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

委員会名	都市経済委員会
期 日	令和4年11月16日
視 察 先 及 び 視 察 内 容	J R 米子 駅 米子駅南北自由通路等整備事業の工事進捗状況の確認
参加者名	【委員長】岩崎康朗 【副委員長】大下哲治 【委員】門脇一男、国頭靖、戸田隆次、西野太一、又野史朗、 矢田貝香織 【委員外議員】田村謙介、塚田佳充、津田幸一、土光均、 森谷司 【随行】議会事務局 事務局長 松下 強 議事調査担当局長補佐 森井聖太
経 費	公用車利用のため経費なし
委 員 会 所 感	別紙のとおり

別 紙

(1) 視察の目的

J R 米子駅南北自由通路等整備事業は、委員会所管の事務の中でも大きな事業の一つであり、来年 8 月の供用開始に向け工事推進中であるが、その進捗状況、工事が適切に行われているか等、現地を含め確認することにより、議会のチェック機能を果たすことを目的とする。

(2) 視察（説明）要旨

視察当日、午前中に都市経済委員会を開催し、工事の進捗状況の報告を受け、午後から現地調査を行うことを確認した。委員会終了後、J R 米子駅南北自由通路等整備の現場に移動し、執行部の担当者及び J R の工事担当者から工事の進捗状況等の説明を受けた。

(3) 主な質疑応答

Q 1 ・部材高騰、人件費高騰などの影響で、全体の予算管理に不安があるがどうか。

A 1 ・これ以上、補正予算対応することがないよう適切に事務を行う。

Q 2 ・円安の影響で高騰する部材などの調達がうまくいくのか。

A 2 ・既に必要な部材調達は終わっている。工期に支障が出ないように注意を払い対応する。

Q 3 ・南北に分断された駅周辺地区の移動の円滑化について

A 3 ・長年、地域住民の皆様には御不便をおかけしていた。今回の自由通路ができることにより、南北で歩行者、自転車の移動が可能となり、移動の円滑化が図れることになる。

Q 4 ・歩行者の回遊性をどう図っているのか。

A 4 ・南北に自由通路ができることにより、駅周辺での回遊性が格段にアップする。米子駅周辺のウォークブル推進が加速していくことになる。

Q 5 ・中央部分の展望スペースからの眺望はどうか。

A 5 ・自由通路の中央部分にはベンチを置き、ゆったりと景観を楽しむよう設計されている。列車の行き来や駅構内・駅周辺の様子を伺うことができるようになる。

Q 6 ・駅南のにぎわい創出の考え方について

A 6・駅南ロータリーから県道まで歩道を備えた駅前通りを計画しており、にぎわい創出を検討していく。

Q 7・駅南からの東山新体育館までの動線に対しての考え方について

A 7・新体育館までの遊歩道の必要性はあり、今後検討に入っていく。

Q 8・天井や壁に県産木材を使用し、ぬくもり空間を演出することについて

A 8・自由通路の天井や壁に県産木材を使用し、ぬくもり空間を演出するよう設計されている。予定どおり施工する考えである。

(4) 視察（説明）要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

J R 米子駅南北自由通路は、通称「がいなロード」と命名され、工事開始から約1年半が経過している。

工事の進捗状況は9月末時点で42%であり、資材の落下防止など歩行者の安全を考慮し、工事の時間を昼間から深夜に変更するなどしたが、計画に大きな影響はないことが確認された。昨今の円安の影響により、部材や人件費の高騰など、厳しい状況であると思料するが、着実に工事の推進を図り、来年夏には市民みんなで大いに開通を祝うことを期待したい。